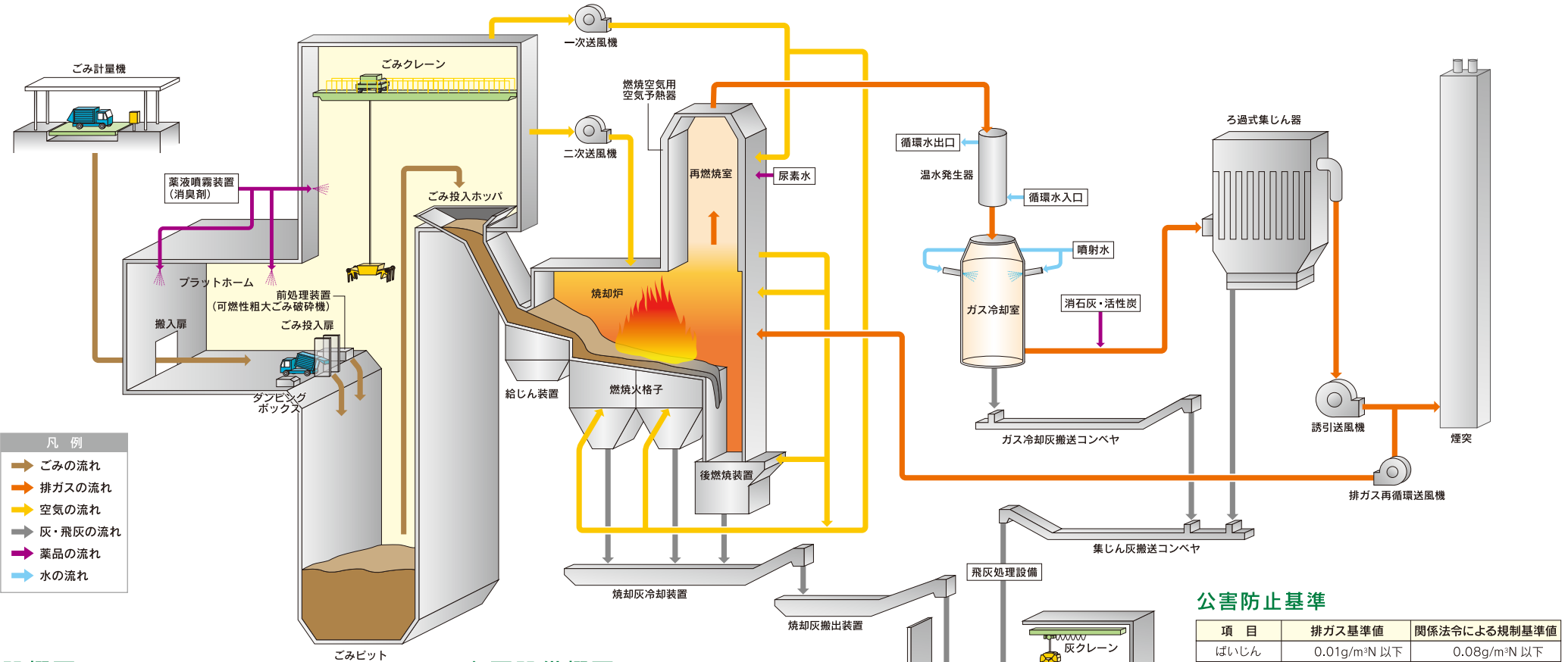


処理フローシート



- 凡例
- ごみの流れ
 - 排ガスの流れ
 - 空気の流れ
 - 灰・飛灰の流れ
 - 薬品の流れ
 - 水の流れ

施設概要

- 事業主体：館林衛生施設組合（館林市、板倉町、明和町）
- 施設名称：たてばやしクリーンセンター
- 所在地：群馬県館林市苗木町2447番地の19
- 敷地面積：15,155m²
- 建築面積：●工場棟 2,235.73m²
●計量棟 125.66m²
- 処理方式：全連続燃焼式ストーカ炉
- 処理能力：100t/日（50t/24h×2炉）
- 処理対象物：可燃ごみ、可燃性粗大ごみ、リサイクルセンターからの可燃残渣
- 工期：平成26年7月25日～平成29年3月24日

主要設備概要

- 受入・供給設備：ピットアンドクレーン方式
- 燃焼設備：ストーカ方式
- 燃焼ガス冷却設備：水噴射式
- 排ガス処理設備：ろ過式集じん器（バグフィルタ）、無触媒脱硝装置
- 余熱利用設備：温水発生器による温水回収方式（施設内給湯・暖房、館林市総合福祉センター）
- 灰出し設備：ピットアンドクレーン方式
飛灰：薬剤処理及びセメント固化

公害防止基準

項目	排ガス基準値	関係法令による規制基準値
ばいじん	0.01g/m ³ 以下	0.08g/m ³ 以下
硫黄酸化物	50ppm以下	300ppm以下
塩化水素	50ppm以下	430ppm以下
窒素酸化物	50ppm以下	250ppm以下
一酸化炭素	30ppm(4時間平均)	30ppm(4時間平均)
ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m ³ 以下	0.1ng-TEQ/m ³ 以下

*基準値はO₂12%換算値

ごみの流れ

ごみは計量後、プラットフォームからごみピットに投入されます。ピット内のごみはクレーンで攪拌し、ごみ質を均一化した後、ごみ投入ホッパーから給じん装置により焼却炉内に供給されます。炉内のごみは、ストーカ上を移動しながら燃やされ、灰になります。炉内は約900℃以上の高温状態になっているため、ごみは完全燃焼されます。

排ガスの流れ

焼却で発生した排ガスは、再燃焼室で完全燃焼後、尿素水を噴霧し、有害な窒素酸化物を除去し、高温の排ガスで温水を作ります。施設内で給湯や暖房に利用するとともに、館林市総合福祉センターへ温水供給を行いません。その後、ガス冷却室で所定温度まで急速冷却し、消石灰と活性炭を吹き込み、ろ過式集じん器で硫酸酸化物、塩化水素等の有害成分を除去し、クリーンな状態となり煙突より排出されます。

空気の流れ

ごみピット内の臭気を含んだ空気は、焼却炉の燃焼用空気として一次送風機により炉内に送られ、完全燃焼されることで臭気は分解されます。

灰・飛灰の流れ

焼却後の焼却灰は、焼却灰冷却装置により冷却された後、焼却灰搬出装置で灰ピットへ移送され、場外に搬出されます。また、ガス冷却室やろ過式集じん器で排出される飛灰は薬剤処理後、飛灰固化物ピットへ移送され、場外に搬出されます。